

(1) 会長挨拶

夏 目 敏

前荒井邦夫会長より「新体制のもと”限りなき前進”をされる事を心から願っております」との言葉を頂き令和3年度の協会がスタートしました。新型コロナウイルスの拡散により2年続きで協会の事業や各カテゴリーにおける大会、講習会等が実施できない状況が続きました。コロナが終息をし今年度こそは全ての事業が実施できることを願っていましたが、やはり正常時のような訳にはいかず、延期であったり、やむを得ず中止せざるを得ない事業も多々ありました。その中でも、昨年度は北信越国民体育大会に続き鹿児島での国民体育大会も中止になってしまいましたが、今年度の北信越国体開催地である長野も、万全の態勢で各県からの選手を迎える準備が整いましたが、中止を余儀なくされ、その後の三重国体も中止となり2年続きで国体関係の開催が見送りになりました。そのおかげで2027年開催を予定していた長野県での第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会が1年先送りになってしまいました。しかしながら、長野国民スポーツ大会に向けて各競技団体も選手強化、審判員、補助員の育成、技術向上に向け活動が始まっています。バスケットボール協会においても6年後の本大会において、昭和53年第33回「やまびこ国体」の様に総合優勝を取るべく準備が始まっています。少年種別においては、11歳12歳のアンダーカテゴリーの選手強化をするとともに、成年種別においては、核となるチームを中心に経験豊かな選手や大学で活躍の選手等幅広く選択し、練習の機会をより多くすることでチーム力アップに繋がればと考えています。

JBAの登録システムの変更や、コロナ禍で大会等が思うように実施できない事などが重なり、協会への登録数(チーム及び個人)が減ってしまっている現在、この事は県協会の運営にも影響を及ぼす事態になりかねない状況です。なんとかこの事態を回復すべく協会としても力を入れていかなければいけないと思っておりますが、県内バスケットボールを愛好する皆様のご理解とご協力なくては成し得ないことだと思っております。更なる力添えを宜しくお願いします。

Bリーグ所属の「信州ブレイブウォリアーズ」も、リーグ戦での活躍や全日本総合選手権においても上位進出と目覚ましい活躍を見せてくれています。県内のバスケットボール熱を高めてもらうべく更に上を目指して奮起してもらいたいものです。

最後になりますが、特にアンダーカテゴリーの指導者の皆さん、勝利にばかり目を向けず、本来のバスケットボールの楽しさ、面白さを是非とも伝達して欲しいと思っております。暴言・暴力の無いチームづくりをお願いします。

令和4年6月25日